

若手経営者が未来を討論

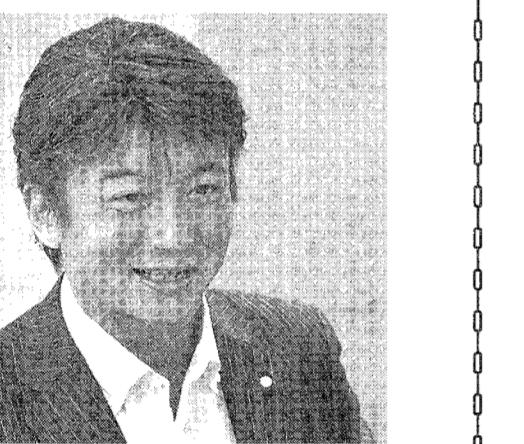
「スロー物流」の推奨を曾根氏

曾根 国を挙げては、どのような取り組みが必要になるか。

曹根 物流を主導してほしい。不急のモノは自ら頼むのではなく計画的に購入するなどを推奨してはどうか。倉庫など出庫までのリードタイム長い方が良い。もちろんスロー物流も進めないと、10年後も立地的な競争が生まれる。スピード追求の生産性勝

太宰 地方でも同様の意見

次の10年へ何が必要



曾根 和光氏

そね・かずみつ一昭和43年2月11日生
東京都出身。慶大経卒。丸紅
在籍、平成5年ダイワコーポレーション
入社、13年専務、23年社長。
第20代倉青協会会長。

新技术の活用進める醍醐氏



醍醐 正明氏

だいご・まさあき一昭和40年10月23日生
まれ、52歳。東京都出身。一橋大法卒。
アンドーセンコンサルティング(現・アクセンチュア)を経て、平成6年醍醐倉青協会
入社、同年取締役、12年社長。

— 10年後の物流業界をどう予測する。

曾根 深遠(どうた)もあり、全体の企業数は減るだろう。その中で倉庫、トラックの垣根を越えた連合軍が同じシステムを使い、チームをつくるのが鍵になる。当社は醍醐倉庫、松島駿さんが社長を務めるシステム会社のシステム協業し、AI(人工知能)やロボットをつけける次世代のクラウド型のWMS(倉庫管理システム)の開発に取り組んでいる。

醍醐

業務を標準化した上でシステムをつくり、それを基盤に倉庫運営の開発に取り組んでいる。従来は顧客要望を満たすことを最優先に仕事をしてきたが、必ずしも生産性向上、利益に結びつかなかった。人材不足でもサービスを持続的に行なうには、AI、ロボットが不可欠。次世代型WMSを通じ業務をデジタル化し

次世代のキーワードは

太宰 毎年秋に、「サマーを開き、荷主の売れ残った商品を妥協提供している。多くの人々に喜んでもらえるよ

醍醐 本社倉庫は準工業地域に立地し、周辺は近隣住民との付き合い方も重要な要素

太宰 将來的には全国規模のネットワークをつくり、同じシステムを使うことで大手企業も手掛けたり、それを刷新する気持ちがないとコストだけかかるてしまう。開

醍醐 顧客が見込める地域共生で取り組み

太宰 具体的にどのようない

醍醐 每年秋に、「サマーを開き、荷主の売れ残った商品を妥協提供している。多くの人々に喜んでもらえるよ

醍醐 顧客が見込める地域共生で取り組み

太宰 顧客が見込める地域共生で取り組み

醍醐 顧客が見込める地域共生で取り組み

池田 この10年が今後決

められる。ゴールはまだ見えないが、間もなく100周年

の企業像は。

池田 議論を踏まえた10年後

企業価値を一層向上

曾根 この10年が今後決

められる。ゴールはまだ見えないが、間もなく100周年

の企業像は。

曾根 この10年が今後決

められる。ゴールはまだ見えないが、間もなく100周年

激動の時代を振り返る

若手経営者が未来を討論

曾根 10年前比較すると所管面積は2倍売上高は2.4倍。(当時は政府が規制緩和を進めいろいろな人が資金差投じ倉庫を造れる環境が整備される中、いち早く特定の会社の設立や銀行との関係構築に取り組んだ。)

太宰 当社の場合は東日本大震災があり、10年間のうち7年間が復旧・復興。思い描いたプラン通りに進められたかった。だからまだなんとか

太宰 地方でも同様の意見

曾根 国を挙げては、どのような取り組みが必要になるか。

曹根 物流を主導してほしい。不急のモノは自ら頼むのではなく計画的に購入するなどを推奨してはどうか。倉庫など出庫までのリードタイム長い方が良い。もちろんスロー物流も進めないと、10年後も立地的な競争が生まれる。スピード追求の生産性勝

太宰 地方でも同様の意見

曾根 国を挙げては、どのような取り組みが必要になるか。

曹根 物流を主導してほしい。不急のモノは自ら頼むのではなく計画的に購入するなどを推奨してはどうか。倉庫など出庫までのリードタイム長い方が良い。もちろんスロー物流も進めないと、10年後も立地的な競争が生まれる。スピード追求の生産性勝